

Ⅲ 教科ごとの学力の状況等

1 小学校国語

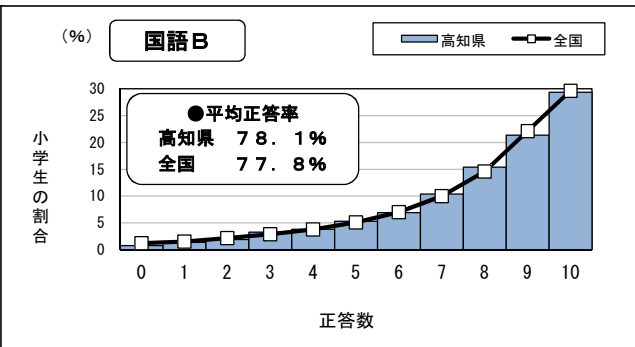
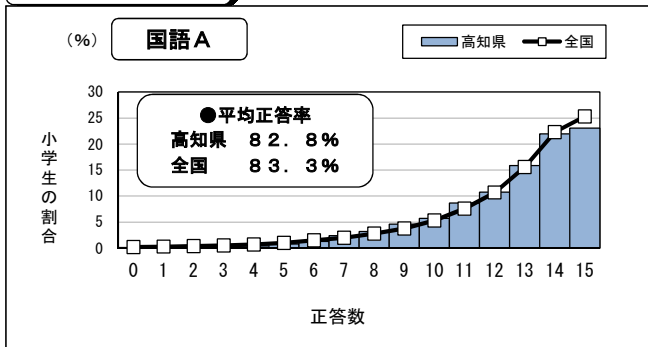
○ 国語A（知識）の平均正答率は82.8%であり、全国の平均正答率83.3%とほぼ同じである。漢字の読み書きは全国とほぼ同じであるが、文章の構成をとらえることのほか次のような課題が見られた。

- ・ 文学的な文章に登場する人物を相互に関係付けて読むこと [3]
- ・ 文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書くこと [4]

○ 国語B（活用）の平均正答率は78.1%であり、全国の平均正答率77.8%とほぼ同じである。文章の構成をとらえることのほか、次のような課題が見られた。

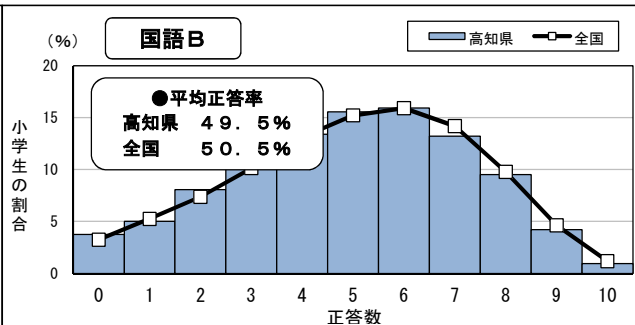
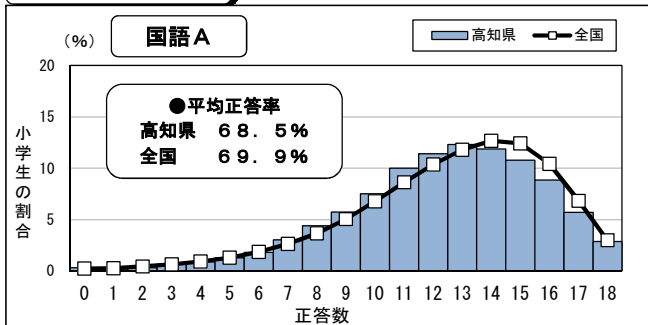
- ・ 話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、適切に質問すること [3] 三
- ・ 目的や意図に応じて、必要な情報を関連付けて読み、理由を明確にして説明すること [4]

平成22年度

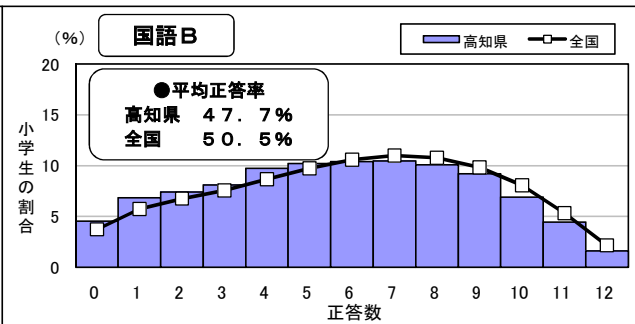
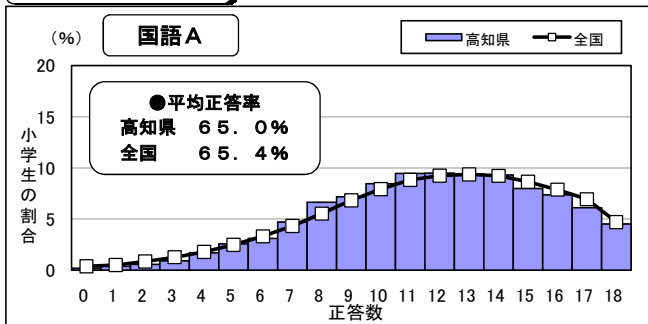


<参考>

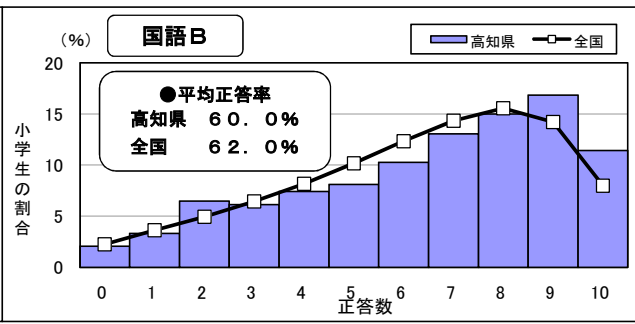
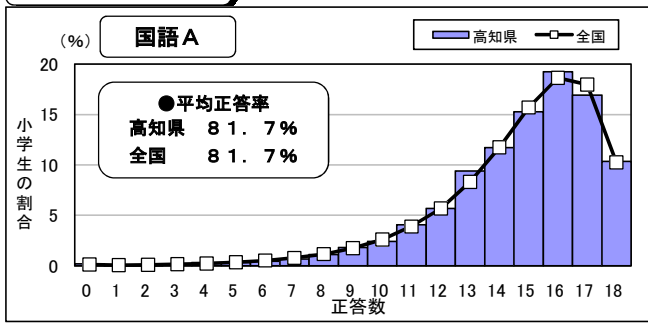
平成21年度



平成20年度



平成19年度

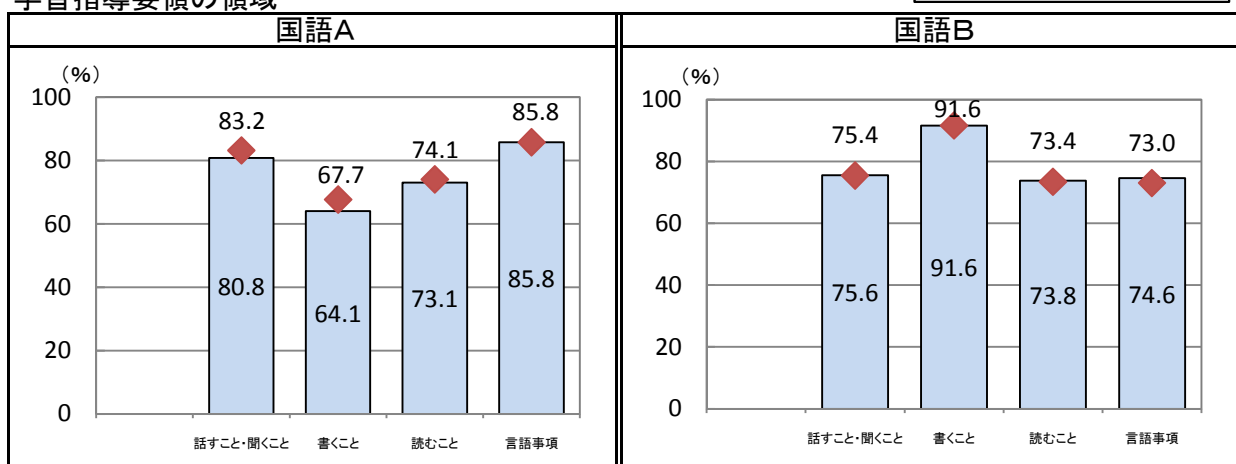


【分類・区別の状況】

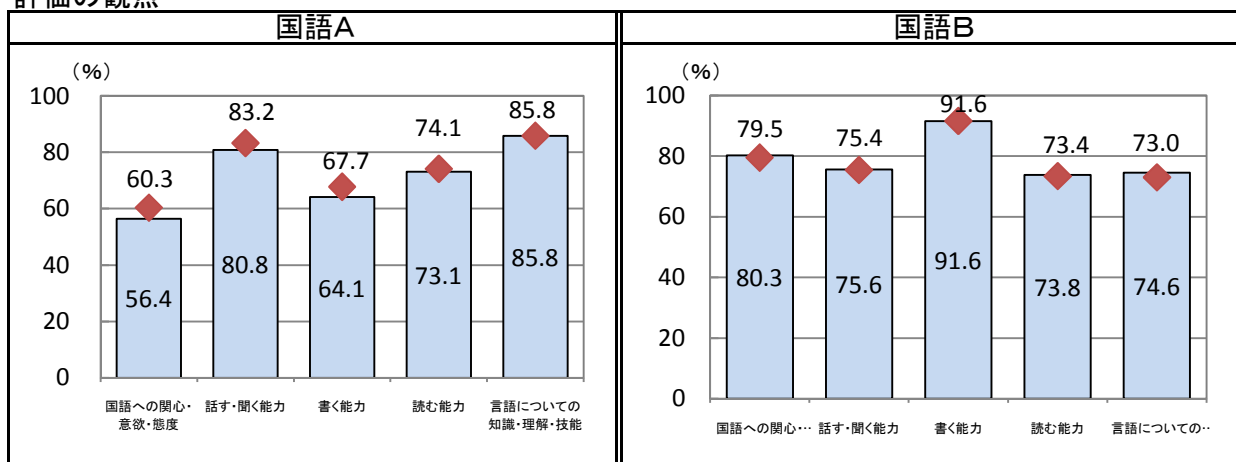
- 領域別では、国語A(知識)の「書くこと」領域で平均正答率が全国平均より3.6ポイント低い。
- 観点別では、国語A(知識)の「国語への関心・意欲・態度」に関する設問の平均正答率が全国平均より3.9ポイント低い。
- 問題形式別では、国語A(知識)の選択式の平均正答率が全国平均より2.6ポイント低い。

学習指導要領の領域

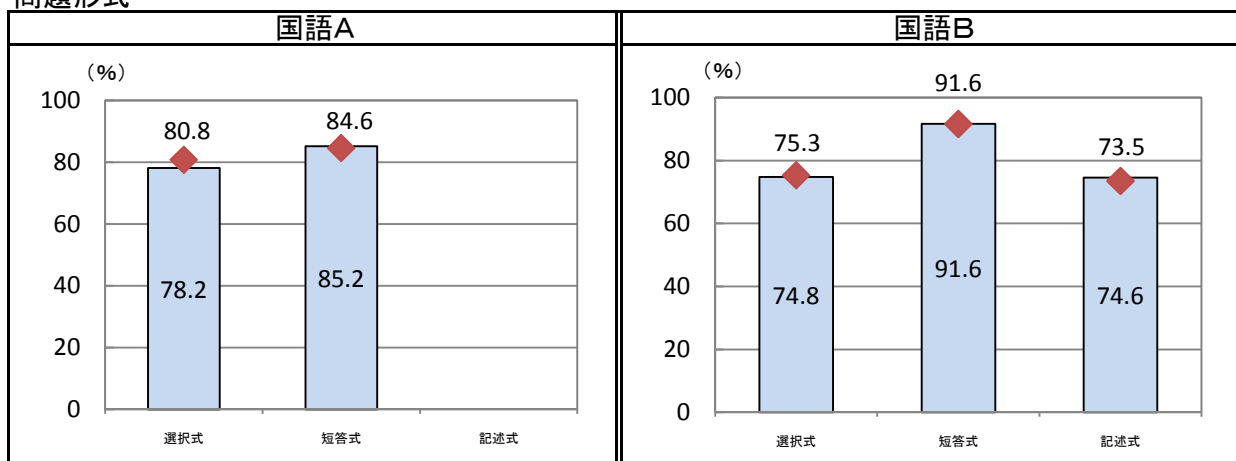
■ 22高知 ◆ 22全国



評価の観点



問題形式



【設問別集計結果 小学校（国語）】

■国語A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率 －全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1ー(1)	漢字を読む(新しいクラスに慣れる)	言	言	短	-0.5	95.7	96.2	1.1	1.0
1ー(2)	漢字を読む(本の目次を見る)	言	言	短	-0.6	95.4	96.0	1.2	1.2
1ー(3)	漢字を読む(いつも清潔なハンカチを持つ)	言	言	短	1.0	97.5	96.5	0.5	1.2
1二(1)	漢字を書く(ひさしぶりにおじさんに会う)	言	言	短	6.4	86.5	80.1	6.6	11.5
1二(2)	漢字を書く(ぎじゅつが進歩する)	言	言	短	-0.8	73.9	74.7	4.3	5.8
1二(3)	漢字を書く(星の位置がへんかする)	言	言	短	3.4	93.7	90.3	1.8	3.4
2	説明的な文章の中に入る適切な言葉を選択する	読	読	選	-3.1	80.2	83.3	0.5	0.5
3	物語の登場人物の関係をとらえて書く	読	読	短	0.9	65.9	65.0	1.1	1.8
4	メモを基にして、児童会だよりの中に入る適切な内容を書く	書/言	関/書/言	短	-3.9	56.4	60.3	1.3	2.0
5	意見文の中に書く内容をまとめた4枚のカードを構成した順番に並べ替える	書	書	選	-3.3	71.7	75.0	0.7	0.8
6	見学したことの説明の工夫として適切なものを選択する	話	話	選	-2.4	80.8	83.2	0.9	1.0
7	国語辞典を利用して、複数の言葉の意味の中から適切なものを選択する	言	言	選	0.8	82.2	81.4	1.3	1.3
8	共通語と方言の使われ方として適切なものをそれぞれ選択する	言	言	選	-4.8	76.2	81.0	2.1	2.3
9ア	二つの言葉を組み合わせて、一つの言葉にして書く	言	言	短	0.0	95.3	95.3	2.3	2.7
9イ	一つの言葉を二つの言葉に分けて書く	言	言	短	-0.3	91.3	91.6	2.5	3.0

■国語B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率 －全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1ア	学校新聞に対する二つの意見の共通点を書く	書	関/書	短	-0.1	93.6	93.7	1.2	2.0
1イ	学校新聞に対する二つの意見の相違点を書く	書	関/書	短	0.1	89.6	89.5	1.7	2.5
2ー(1)	物語を読んで、指示された部分についてのあらすじを書く	読/言	関/読/言	記	1.6	74.6	73.0	4.0	5.3
2ー(2)	物語を読んで、発表した内容の中に入る適切な言葉を選択する	読	読	選	0.4	73.3	72.9	1.6	2.0
2二	物語を読んで思ったことや考えたこと、その理由を書く	読	関/読	記	1.1	83.4	82.3	5.9	7.8
3ー①	発表の中で写真を示す場面として適切な箇所を選択する	話	話	選	-1.6	79.1	80.7	1.9	2.0
3ー②		話	話	選	-0.1	77.8	77.9	1.8	2.1
3二	話し手が聞き手に問いかけるよさについての説明を書く	話	関/話	記	3.8	76.8	73.0	9.1	11.2
3三	聞き手が質問した内容に合う質問の観点を選択する	話	話	選	-1.0	68.9	69.9	3.8	4.3
4	三つの時計の中から、条件に合ったものを選び、それを選んだ理由を書く	読	関/読	記	-1.6	63.9	65.5	2.6	3.0

「太字」は、全国正答率より5ポイントをこえて高い正答率

「白抜き」は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

【課題】

- 話や文章の全体の構成や文脈を考えて状況を判断し、話したり、聞いたり、書いたり、読んだりする力が身に付いていない。
- 目的や意図に応じて必要な情報を関係付けて読んだり、文章中の登場人物の関係や文と文との関係などを押さえて読んだりする力が身に付いていない。
- 文の論理を考えながら、指示された条件に合わせて書く力が身に付いていない。
- 共通語と方言の適切な使われ方についての理解が身に付いていない。

【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の児童が理解できている内容 ◆課題がある内容 []設問番号>

話し手・聞き手	<p>◇ 聞き手が理解しやすいように、話の全体の構成を工夫することについては、相当数の児童ができています。 [A]6]</p> <p>◆ 話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、適切に質問することに課題がある。 [B]3]三]</p>
書くこと	<p>◇ 意見の共通点や相違点を整理し、自分の表現の効果を確かめたり工夫したりすることについては、相当数の児童ができています。 [B]1]</p> <p>◆ 文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書くことに課題がある。 [A]4]</p>
読むこと	<p>◇ 物語を読んで思ったことや考えたことを、理由を明確にしてまとめて書くことについては、相当数の児童ができています。 [B]2]二]</p> <p>◆ 文学的な文章に登場する人物を相互に関係付けて読むことに課題がある。 [A]3]</p> <p>◆ 物語全体の構成の効果をとらえることに課題がある。 [B]2]一(2)]</p> <p>◆ 目的や意図に応じて、必要な情報を関係付けて読み、理由を明確にして説明することに課題がある。 [B]4]</p>
言語事項	<p>◇ 今回出題された漢字の読みと書きについては、相当数の児童ができています。 [A]1]</p> <p>◇ 語句の構成や語形の変化を理解することについて、相当数の児童ができています。 [A]9]</p> <p>◆ 共通語と方言の違いを押さえ、それぞれの使われ方を理解することに課題がある。 [A]8]</p>

【正答率が高い問題】

A1 一(3)	漢字の読み(清潔)	[97.5%]
A1 一(1)	漢字の読み(慣れる)	[95.7%]
A1 一(2)	漢字の読み(目次)	[95.4%]
A9 ア	複合語を理解する	[95.3%]
A1 二(3)	漢字の書き(へんか)	[93.7%]

【正答率が低い問題】

A4	二文を一文にして書く	[56.4%]
B4	情報を関係付けて読む	[63.9%]
A3	登場人物を相互に関係付けて読む	[65.9%]
B3 三	観点を明確にして質問する	[68.9%]
A5	構成の効果を考えて書く	[71.7%]

話すこと・聞くこと

- **話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、適切に質問する指導の充実**
 - ・ 話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、適切に質問するには、話し手を尊重して主体的に聞こうとする態度を高めるとともに、話し手と聞き手の両者にとって大事なことを押さえ、話し手の意図や話の内容に合わせて質問を工夫できるようにすることが重要である。そのためには、話し手の意図や話の中心を的確にとらえ、自分の意見と比べるなどした上で、聞きたいことを明確にして質問することができるように具体的な質問の観点などを指導することが大切である。

書くこと

- **文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書く指導の工夫**
 - ・ 相手に伝えたいことを的確に表すには、文と文とのつながりを理解できるようにすることが重要である。そのためには、「書くこと」の記述や推敲の段階などにおいて、文と文との接続関係に着目し、必要に応じて複数の文を一文に書き換えるように指導することが大切である。さらに、一文が長くなり、意味が伝わりにくい重文や複文については、一文一文に分けて簡潔に書くように指導することも大切である。
 - ・ 目的や意図を明確にした上で、多様な条件を提示し、それらに合わせて適切に書くことができるように、モデル文などを提示して指導することが大切である。

読むこと

- **漫然とただ文章を読むのではなく、「何のために読むのか、読んでどうするのか」という目的意識をもち、主体的に文章を読もうとする態度の育成**
- **文学的な文章に登場する人物を相互に関係付けて読む指導の充実**
 - ・ 文学的な文章に登場する人物を相互に関係付けて読むには、それぞれの人物の行動や会話、情景などについての叙述に着目し、それぞれの人物像や役割をとらえ、人物相互の関係を整理しながら読むことができるように指導することが大切である。
- **文章全体の構成の効果をとらえる指導の工夫**
 - ・ 読むことの指導においては、文章の内容を理解するにとどまらず、作品のジャンルや構造、書き手の位置、設定された状況など、文章全体の構成の効果をとらえる視点をもつことができるように指導することが大切である。
- **目的や意図に応じて、必要な情報を収集し、効果的な読み方を工夫する指導の充実**
 - ・ 目的や意図に応じて、必要な情報を収集し、選択するには、複数の情報を分類・整理しながら、比べて読む指導が重要である。「効果的な読み方」として、比べ読みのほか、速読、本や文章全体を概観しながら拾い読みする摘読、同じ課題で多くの本を並行して読む多読などを指導することも大切である。さらに、示された情報の内容だけでは分からないことや分かりにくいことなどについても検討する指導も必要である。

言語事項

- **相手や場面、状況に応じて共通語や方言を使い分ける指導の充実**
 - ・ 相手や場面、状況に応じて共通語や方言を使い分けるには、それぞれの特質を理解できるようにすることが重要である。そのためには、様々な文脈の中で使われている共通語と方言を取り出して、比較・対照しながら整理するなどの具体的な活動を通して、それぞれの特質を理解できるように指導することが大切である。(共通語の指導については、学校行事や校内放送などの改まった場面で実際に話すことを通して、その特質や必要性についての理解が深まるようにすることが重要である。)

2 小学校算数

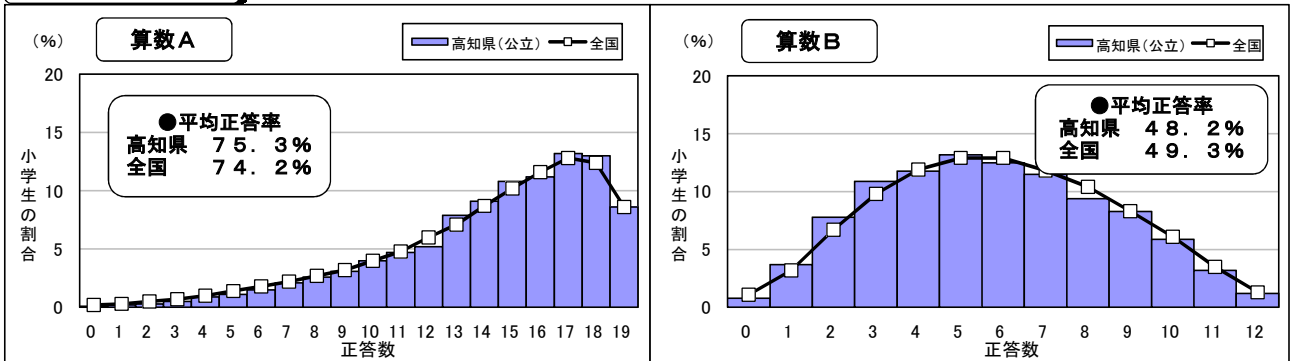
○ 算数A（知識）の平均正答率は75.3%であり、全国の平均正答率74.2%とほぼ同じである。四則の計算などは全国平均を上回っているものの、等積変形した図形の長さをとらえる問題のほか、次のような課題が見られた。

- ・商が1よりも小さくなる場面で除法が用いられることを理解すること [2] (1)
- ・数量を等分したときの1つ分を分数で表すこと [2] (2)

○ 算数B（活用）の平均正答率は48.2%であり、全国の平均正答率49.3%とほぼ同じである。表やグラフが表している内容を関連付けて読み取ることのほか、次のような課題が見られた。

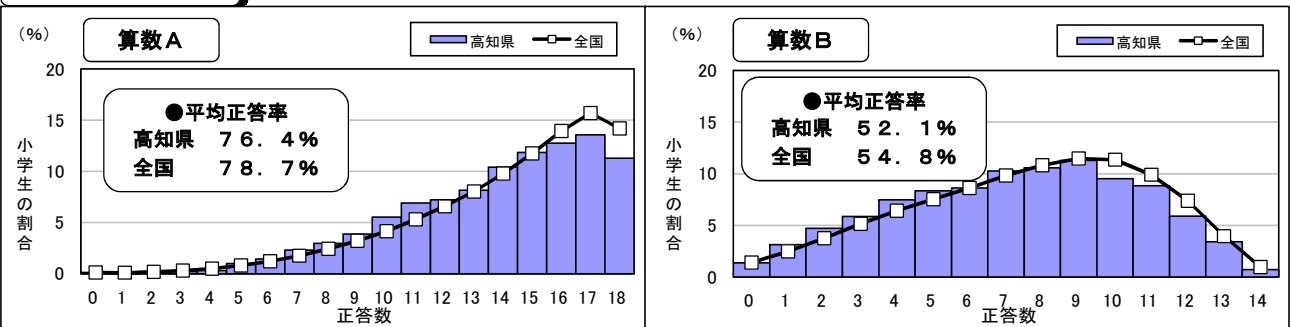
- ・割合が一定の場面で、比較量が最も大きくなるときの基準量を判断し、その理由を書くこと [5] (2)
- ・示された図や考えを基に、長さの大小を判断し、その理由を書くこと [6] (2)

平成22年度

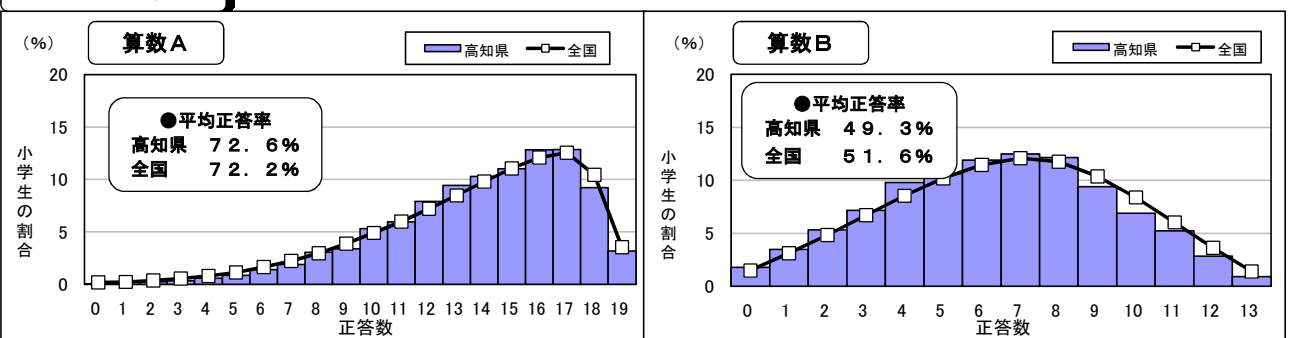


<参考>

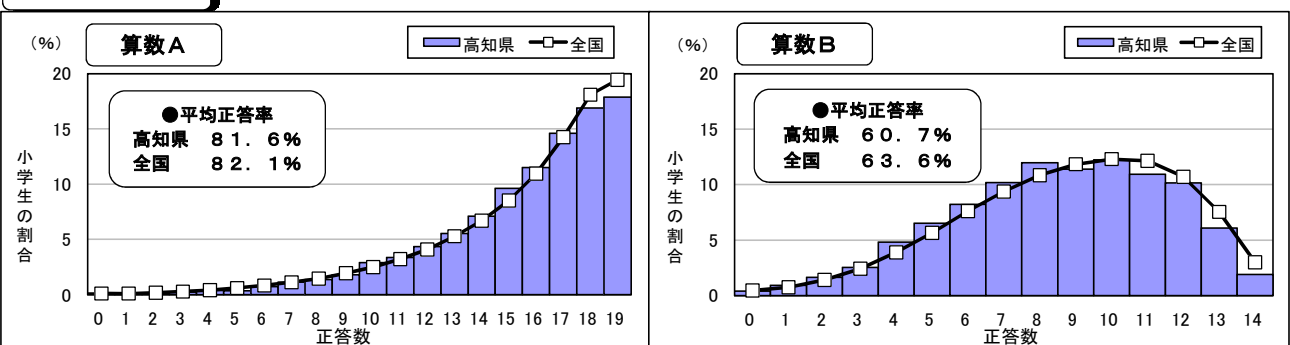
平成21年度



平成20年度



平成19年度

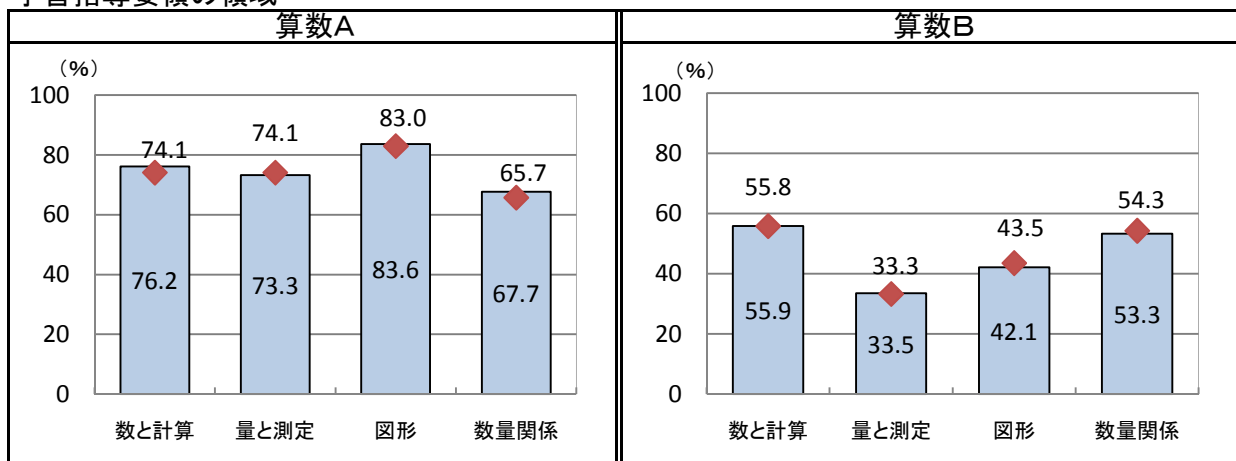


【分類・区別の状況】

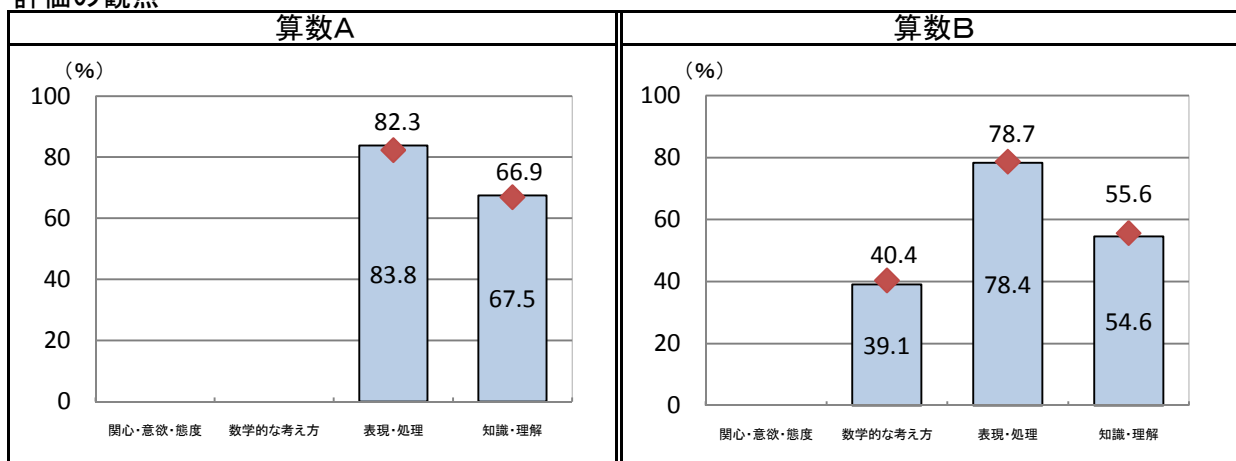
- 領域別では、算数A(知識)の「数と計算」、「数量関係」の領域で平均正答率が全国平均よりそれぞれ2.1ポイント、2ポイント高い。
- 観点別では、すべての観点で平均正答率が全国平均とほぼ同じである。
- 問題形式別では、算数A(知識)の短答式の平均正答率が全国平均より2.1ポイント高く、算数B(活用)の選択式の平均正答率が全国平均より2ポイント低い。

学習指導要領の領域

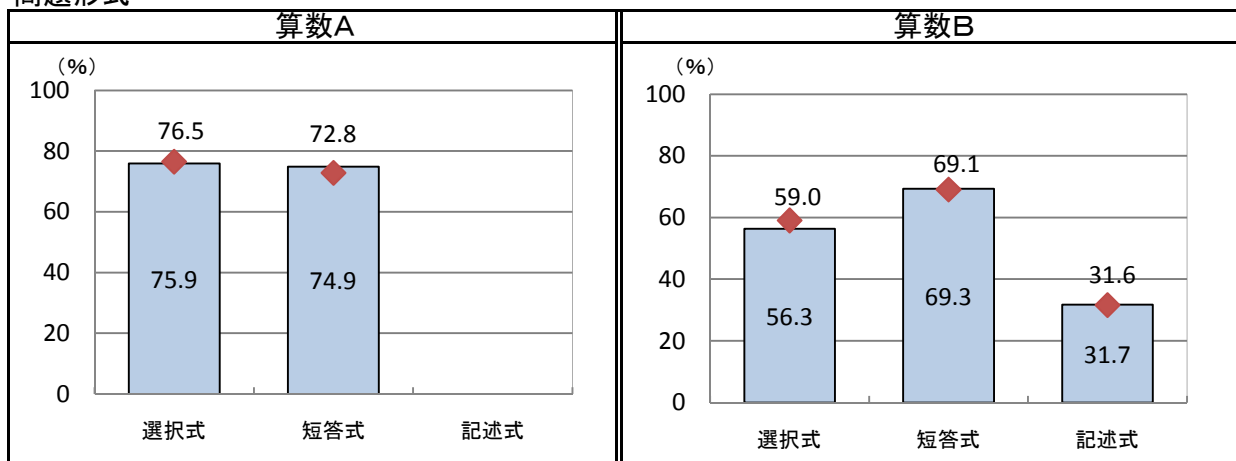
■ 22高知 ◆ 22全国



評価の観点



問題形式



【設問別集計結果 小学校（算数）】

■算数A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率 - 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1(1)	243-65を計算する	計	表	短	1.5	88.4	86.9	0.1	0.2
1(2)	27×3.4を計算する	計	表	短	0.1	84.4	84.3	0.1	0.4
1(3)	912÷4を計算する	計	表	短	1.6	91.2	89.6	0.7	1.8
1(4)	8-0.5を計算する	計	表	短	1.0	84.2	83.2	0.7	1.2
1(5)	6÷5の商を小数で表す	計	表	短	2.8	88.8	86.0	1.0	1.7
1(6)	50+150×2を計算する	数量	表	短	3.2	69.1	65.9	0.4	0.8
2(1)	8mの重さが4kgの棒の1mの重さを求める式と答えを書く	計	知	短	1.9	55.7	53.8	2.6	3.6
2(2)	2ℓのジュースを3等分したときの1つ分の量を分数で表す	計	知	短	7.1	47.3	40.2	3.8	5.4
3	長方形の黒い部分を表す分数を選ぶ	計	知	選	0.7	69.3	68.6	0.5	0.8
4(1)	円を分割して並べたときにできる長方形について、縦の長さが円のどの部分に当たるかを選ぶ	測	知	選	-2.9	77.2	80.1	1.0	1.0
4(2)	円を分割して並べたときにできる長方形について、横の長さが円のどの部分に当たるかを選ぶ	測	知	選	-3.7	51.6	55.3	0.9	1.0
5(1)	三角定規が示された場面で、60°の補角の大きさを求める	測	表	短	1.3	84.0	82.7	1.6	2.3
5(2)	上底3cm、下底7cm、高さ4cmの台形の面積を求める式と答えを書く	測	知	短	1.4	71.5	70.1	1.7	2.5
6	立方体の展開図をかく場面で、5つの面が示されたとき、残りの1つの面をかく場所を選ぶ	図形	表	選	1.8	90.1	88.3	1.2	1.4
7	方眼紙上で、3点が与えられた平行四辺形の残りの点の位置を選ぶ	図形	知	選	-0.4	75.7	76.1	1.7	1.9
8(1)	長方形を1本の対角線で切って組み合わせてできた図形の面積が、元の長方形の面積と比べてどれだけ大きくなるかを選ぶ	測	知	選	0.1	82.3	82.2	2.3	2.6
8(2)	長方形を1本の対角線で切って組み合わせてできた図形の名前を選ぶ	図形	知	選	0.4	85.1	84.7	2.3	2.5
9(1)	じゃがいも畑の面積40cm ² が、学校の畑の面積50cm ² のどれだけの割合に当たるかを書く	数量	知	短	2.3	59.7	57.4	8.1	10.4
9(2)	折れ線グラフを読み、気温の上がり方が最も大きい時間を書く	数量	表	短	0.5	74.3	73.8	3.8	4.3

■算数B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率 - 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1(1)	えんびつ1本の定価を整数にするために、おつりの金額を何円に変えればよいかを選ぶ	計	考	選	0.1	55.9	55.8	0.4	0.6
1(2)	おつりを正しく求められるように式に()を書き加える	数量	知	短	-0.1	42.1	42.2	14.4	12.1
2(1)	本立ての部品の図を見て、どのような長方形かを書く	図形	考	記	-0.7	31.0	31.7	12.8	13.6
2(2)	示された部品を組み立てて、作ることができる本立てを2つ選ぶ	図形	考	選	-3.7	61.9	65.6	1.7	1.6
3(1)	3つの円グラフを見て、けがが最も多く起こった場所を書く	数量	表	短	0.6	96.5	95.9	0.7	1.1
3(2)	二次元表の中の数が何を意味しているのかを書く	数量	表	記	-1.2	60.2	61.4	2.6	3.6
3(3)	二次元表の一部分の数を使ってかくことのできる円グラフを選ぶ	数量	考	選	-5.5	34.5	40.0	0.8	1.2
4	平行四辺形から台形に図形を変えて、示された2つの三角形の面積が等しいことの説明を書く	測/図	考	記	0.2	33.5	33.3	19.2	22.0
5(1)	定価1000円の図に対して、定価の30%引き後の値段を表している図を選ぶ	数量	知	選	-2.0	67.0	69.0	1.3	1.9
5(2)	割引券を使うと値引きされる金額が最も大きくなる商品を選び、そのわけを書く	数量	考	記	2.3	19.4	17.1	3.8	4.5
6(1)	バスのドアの下にできる三角形について、その名前を選び、判断の分けを選ぶ	図形	考	選	-2.6	62.2	64.8	3.1	3.1
6(2)	バスのドアが動く様子を表した図を見て、円周の一部と直線の長さの大小についての正しい記述を選び、判断のわけを書く	図形	考	記	-0.2	14.4	14.6	8.8	9.2

「白抜き」は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

【課題】

- 基本的な計算は身に付いているが、それを応用する力が昨年度までと同様に身に付いていない。
- 表やグラフが表している内容を関連付けて読み取ることが昨年度までと同様にできていない。
- 得られた情報もとに数学的に表現し説明することが昨年度までと同様にできていない。

【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の児童が理解できている内容 ◆課題がある内容 [] 設問番号>

数と計算	◇繰り下がりのある減法の計算をすることは相当数の児童が理解できている。 [A 1 (1)]
	◇整数の除法の計算をすることは相当数の児童が理解できている。 [A 1 (3)]
	◇商が小数になる除法の計算をすることは相当数の児童が理解できている。 [A 1 (5)]
	◆商が1より小さくなる等分除の場面で、除法が用いられることの理解に課題がある。 [A 2 (1)]
	◆数量を等分したときの1つ分を分数で表すことに課題がある。 [A 2 (2)]
量と測定	◇補角の大きさを求めることは相当数の児童が理解できている。 [A 5 (1)]
	◆円を分割して、並べ替えたときにできる長方形について、横の長さが円周の半分であることへの理解に課題がある。 [A 4 (2)]
図形	◇立方体を展開図から構成することは相当数の児童が理解できている。 [A 6]
	◆平面上にかかれた立体図形や平面図形、与えられた条件を基に長方形の大きさを考え、それを辺の長さと言葉を用いて記述することに課題がある。 [B 4]
	◆示された図や考えを基に、長さの大小を判断し、その判断の理由を円周の4分の1の長さを求める式と言葉を用いて記述することに課題がある。 [B 6 (2)]
数量関係	◇示された3つの円グラフから目的に合うものを選び、必要な情報を読み取ることは相当数の児童が理解できている。 [B 3 (1)]
	◆計算の順序のきまりについて理解し、最初に考えた式に()を書き加えて正しい式に補正することに課題がある。 [B 1 (2)]
	◆二次元表に示された数の意味を考え、円グラフと関連付けることに課題がある。 [B 3 (3)]
	◆割合が一定の場面で、比較量が最も大きくなる時の基準量を判断し、その理由を記述することに課題がある。 [B 5 (2)]

【正答率が高い問題】

B 3 (1)	3つの円グラフを見て、けが最も多く起こった場所を書く [96.5%]
A 1 (3)	912÷4 を計算する [91.2%]
A 6	立方体の展開図をかく場面で、5つの面が示されたとき、残り1つの面をかく場所を選ぶ [90.1%]
A 1 (5)	6÷5 を小数で表す [88.8%]
A 1 (1)	243-65 を計算する [88.4%]

【正答率が低い問題】

B 6 (2)	バスのドアが動く様子を表した様子を見て、円周の一部と直線の長さの大小についての正しい記述を選び、判断のわけを書く [14.4%]
B 5 (2)	割引券を使うと値引きされる金額が最も大きくなる商品を選び、そのわけを書く [19.4%]
B 2 (1)	本立ての部品の図をみて、どのような長方形かをかく [31.0%]
B 4	平行四辺形から台形に図形を変えて、示された2つの三角形の面積が等しいことの説明を書く [33.5%]
B 3 (3)	二次元表の一部分の数を使ってかくことのできる円グラフを選ぶ [34.5%]

指導改善のポイント 小学校

めざす授業の方向性

- 授業で児童の発言などをうまく取り上げ、考えを発表し合う中で、結論づけるなどの授業の充実を図る。
- 問題場面の情報を整理し、複数の条件を基に、筋道を立てて考えていく授業の充実を図る。
- 単元テストを活用して、児童の学習の定着状況を把握し、不十分な場合は、定着のための手立てをとる。

【数と計算】

- 場面から数量の関係をとらえ、除法を用いて式で表現する活動の充実
 - ・ 示された数量を図に表す活動を取り入れ、数量の関係をとらえられるようにすることが大切である。

【量と測定】

- 求積対象の図形とそれを変形してできた図形を対応させて考える活動の充実
 - ・ 円の面積の公式を学習する際に、円を等分して並べ替えた図形を平行四辺形や長方形とみなしたり、長方形の縦と横の長さが元の円のどの部分に当たるかなどを考えたりして、円の面積の公式の意味を実感的に理解できるようにすることが大切である。

【図形】

- 身の回りの事象を観察して図形を見だし、図形の定義や性質を根拠に説明する活動の充実
 - ・ 身の回りから平面図形や立体図形を見だし、その図形とみなすことができる理由を、図形の定義や性質を根拠にして説明する活動を取り入れることが大切である。

【数量関係】

- 二次元表と円グラフの関連を理解したり、割合の考えを用いて論理的に説明したりできるようにする指導の重視
 - ・ 目的に応じて二次元表から情報を取り出し、円グラフをかく活動を取り入れるなどして、二次元表と円グラフを関連付けて考える場を設定することが大切である。また、割合に関する問題解決の場面で、 $(\text{基準量}) \times (\text{割合}) = (\text{比較量})$ などの割合の考えを根拠にして、式や言葉で理由を説明できるようにすることが大切である。